

UMC エレクトロニクスが不適切な会計処理を発表—格付に下押し圧力、今後の調査結果を注視

以下は、ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社（証券コード：6615）の不適切な会計処理についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は8月7日、中国の連結子会社で不適切な会計処理が判明したと発表した。本件による純資産への影響額は現時点で31億円としている。具体的な内容は、買掛金の過少計上が26億円、棚卸資産の過大評価が4億円、残りが長期未収入金の計上である。これらの他にも、金額が確定していない不適切な会計処理が確認されている。こうした状況を踏まえ、当社は同日付で外部調査委員会の設置を決めた。その目的は不適切な会計処理に関する事実関係の調査と原因究明、類似事象の有無の調査、並びに再発防止策の検討・提言等である。
- (2) 当社の19/3期末における自己資本264億円に照らすと、現時点で判明している影響額は小さくない上、今後の調査で影響額がさらに拡大する公算が大きい。また、不適切な会計処理の原因なども明らかにされていない。JCRは外部調査委員会による調査結果、業績・財務への影響、今後の業績見通しなどを確認の上、適宜格付に反映させていく。

(担当) 関口 博昭・山口 孝彦

【参考】

発行体：ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社
国内CP格付：J-2

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル